Sulfolane W

版番号 1.4　　改訂日 2015-03-02

項目1. 化学物質等及び会社情報

製品情報

製品名　：　Sulfolane W
品名　：　1099779, 1100043, 1024627, 1024628, 1024629, 1024630, 1024631, 1024632, 1024633

使用　：　溶剤

会社名　：　シェブロンフィリップス化学株式会社
Specialty Chemicals
〒103-0022 東京都中央区日本橋
室町3丁目3番9号

局部の　：　See Company Address

緊急連絡電話番号:

健康:
866.442.9628（北米）
1.832.813.4984（国外）
輸送:
North America: CHEMTREC 800.424.9300 or 703.527.3887
Asia: +800 CHEMCALL (+800 2436 2255) China:+86-21-22157316
EUROPE: BIG +32.14.584545 (phone) or +32.14583516 (telefax)
South America SOS-Cotec Inside Brazil: 0800.111.767 Outside Brazil: +55.19.3467.1600

担当部門　：　製品安全性および毒性グループ
電子メールアドレス　：　SDS@CPChem.com
ウェブサイト　：　www.CPChem.com

2. 危険有害性の要約

物質または混合物の分類
JISZ 7252-2009及びJISZ 7253-2012に 従ったGHS分類及びラベル表示(GHS 2011)

分類

：　眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性, 区分2B
生殖毒性, 区分2

ラベル付け

シンボル :

注意喚起語 : 警告

危険有害性情報 : H320: 眼刺激。
H361: 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い。

注意書き : **安全対策:**
P201: 使用前に取扱説明書を入手すること。
P202: 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P264: 取り扱い後は皮膚をよく洗うこと。
P280: 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
応急措置:
P305 + P351 + P338: 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコン タクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P308 + P313: ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当 てを受けること。
P337 + P313: 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。
保管:
P405: 施錠して保管すること。
廃棄:
P501: 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

別名 : tetramethylene Sulfone
Sulfolane W
Sulfolane w/Water
Tetrahydrothiophene 1,1-dioxide

分子式 : C4H8SO2

化学名	CAS番号	濃度又は濃度範囲	化審法(ENCS)/安衛法(ISHL) 番号
Sulfolane	126-33-0	96.5%	5-77

4. 応急措置

一般的アドバイス	:	危険域から避難させる。 この安全データシートを担当医に見せる。 被災者を一人にしない。
吸入した場合	:	意識がない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。 症状が持続する場合は、医師に連絡する。
眼に入った場合	:	予防措置として、水で眼を洗浄する。 コンタクトレンズをはずす。 損傷していない眼を保護する。 洗浄中は眼を大きく開ける。 眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。
飲み込んだ場合	:	直ちに吐かせ、医師に連絡する。 気道を確保する。 意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。 症状が持続する場合は、医師に連絡する。

5. 火災時の措置

引火点	:	166 -C (331 -F) 方法: Cleveland Open Cup
自然発火温度	:	データなし
使ってはならない消火剤	:	大型棒状の水.
消火を行う者の保護	:	消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。
詳細情報	:	化学物質の火災に対する標準手順。 現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
火災および爆発の防止	:	標準的な防火方法。
危険有害な分解生成物	:	炭素酸化物. 硫黄酸化物.

6. 漏出時の措置

環境に対する注意事項	:	安全を確認してから、もれやこぼれを止める。 製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。
除去方法	:	不活性の吸収材（例えば、砂、シリカゲル、酸性結合剤、汎用結合剤、おがくず）で吸収させる。 廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項	:	蒸気/粉塵を吸い込まない。 個人保護については項目 8 を参照する。 作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。

洗浄水は、国及び地方自治体の規制に従い処分する。

安全取扱い注意事項 : 標準的な防火方法。

保管

保管場所および容器の必要条件 : 容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管する。
電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければならない。

8. ばく露防止及び保護措置

コンポーネント別作業環境測定パラメータ

シェブロンフィリップス化学株式会社

成分	基準	価値	管理濃度	注
Sulfolane	製造者	TWA	0.37 ppm,	

JP

成分	基準	価値	管理濃度	注

設備対策

大気中濃度を曝露ガイドライン/制限未満に制御するよう適切な換気を行うこと。
工学的制御の設計や個人用保護具の選択の際には、本物質の潜在的危険性（第2節参照）、適用される曝露限度、作業活動、および作業場にあるその他の物質を考慮すること。
工学的制御または作業方法が、本物質の有害レベルにおける曝露の予防に十分でない場合には、以下の個人用保護具を使用することが推奨される。
保護は通常、限定的な時間または一定の状況下に対して提供されるものであるため、ユーザは装置に付属するすべての指示事項および制限事項を読んで理解しておくこと。

保護具

手の保護具 : ある特定の作業場の適正度は、防護手袋製造者との相談で決定すべきである。.
手袋の供給業者が提供する透過性および破過時間に関する指示に従う。また、切り傷、擦り傷、接触時間など、製品が使われる特定の環境条件も考慮する。.
手袋に劣化または薬品の浸透を示す兆候わずかにある場合でも、手袋を破棄し取り替えなければならない。.

眼の保護具 : 純水入りの眼洗浄ボトル. 密着性の高い安全ゴーグル.

皮膚及び身体の保護具 : 作業場にある危険物質の量および濃度に応じて、保護具を選択する。. 必要に応じて着用 : . 保護服. 安全靴.

衛生対策 : 使用中は飲食しないこと。. 使用中は禁煙。.
休憩前や終業時には手を洗う。.

9. 物理的及び化学的性質

基礎物理および化学特性の情報

外観

形状	: 液体
物質の状態	: 液体
色	: クリア
臭い	: わずかにアンモニアのような

安全性データ

引火点	: 166 -C(331 -F) 方法:Cleveland Open Cup
爆発範囲の下限	: データなし
爆発範囲の上限	: データなし
酸化特性	: 非該当
自然発火温度	: データなし
分子式	: C4H8SO2
分子量	: 120.18 g/mol
pH	: 非該当
凝固点	: 5.5 - 10 -C(41.9 - 50 -F)
流動点	データなし
沸点，初留点及び沸騰範囲	: 100 - 286 -C(212 - 547 -F)
蒸気圧	: データなし
比重（密度）	: 1.26,30 -C(86 -F)
水溶性	: 部分的に可溶
n-オクタノール／水分配係数	: データなし
動粘度	: データなし
相対蒸気密度	: 1 （空気=1.0）
蒸発速度	: 1
揮発率	: > 99 %

10. 安定性及び反応性

化学的安定性 : この材料は、通常の周囲温度と予想されるストレージの下に安定したと見なされ、温度や圧力の条件を処理する。

危険有害反応可能性

避けるべき条件 : データなし.

混触禁止物質 : 酸素や強い酸化剤（塩素酸塩、硝酸塩、過酸化物など）と反応することがある。.
酸化性固体. 酸化性液体.

危険有害な分解生成物 : 炭素酸化物
硫黄酸化物

その他のデータ : 指示通り保管/適用すれば分解しない。.

11. 有害性情報

急性経口毒性

Sulfolane : LD50: 2,068 mg/kg
種: ラット
性: 男性および女性
方法: OECD 試験ガイドライン 401

急性吸入毒性

Sulfolane : LC50: > 12 mg/l
曝露時間: 4 HR
種: ラット
LC50
吸入/4h/ラットではラット死亡率が最大可能濃度でゼロであったことから同定不可。

LC50: > 12000 mg/m3曝露時間: 4 HR
種: ラット
性: 男性および女性
試験環境: （蒸気）

急性経皮毒性

Sulfolane : LD50: >2000 mgKg
種: ラット
方法: 指令 67/548//EEC, Annex V, B.3.

皮膚刺激性

Sulfolane : 皮膚の炎症無し

眼への刺激

Sulfolane : 目の炎症無し

感作

Sulfolane : 動物実験では感作性なし。

反復投与毒性

Sulfolane : 種:ラット
投与経路:経口
投与量:60, 200, 700 mg/kg bw/day
曝露時間:28 days
曝露回数:Daily
NOEL 無影響濃度（量）: 200 mg/kg bw/day
観察可能な効果最低濃度: 700 mg/kg bw/day

種:ラット
投与経路:吸入
投与量:2.8, 4.0, 20 mg/m3
曝露時間:90-110 days
曝露回数:23 hrs/d, 7d/wk
NOEL 無影響濃度（量）: 20 mg/m3

生殖毒性

Sulfolane : 種:ラット
性:メス
投与経路:経口
投与量:60, 200, 700 mg/kg
曝露回数:Daily
試験期間:2 wk premating to lactation D4
方法:OECD ガイドライン 421
NOAEL Parent:200 mg/kg bw/day
NOAEL F1:60 mg/kg bw/day
出生率および仔動物数の減少

発生毒性

Sulfolane : 種:ラット
投与経路:経口
投与量:60, 200, 700 mg/kg
曝露回数:Daily
試験期間:2 wk premating to lactation D4
NOAEL Teratogenicity:60 mg/kg bw/day
NOAEL Maternal:200 mg/kg bw/day

種: ラット
投与経路: 経口
投与量: 100, 200, 500 mg/kg/day
曝露回数: Daily
試験期間: GD 1 - 19
NOAEL Teratogenicity: 200 mg/kg
NOAEL Maternal: 100 mg/kg
胎児を損傷することがある。

Sulfolane W
吸引性呼吸器有害性 : 吸引毒性に分類無し.

CMR 影響

Sulfolane : 発がん性: 未決定の
変異原性: 動物実験においては遺伝子の突然変異効果は発現しなかった。
催奇形性:
動物実験によると性的機能および繁殖力および/または発育への悪影響が明確にある。
生殖毒性: 生殖に対する毒性は無い

Sulfolane W
詳細情報 : データなし.

12. 環境影響情報

魚毒性

Sulfolane : LC50: > 100 mg/l
曝露時間: 96 HR
種: オリズィアスラティペス(オレンジレッドカダヤシ)
止水式試験 方法: OECD 試験ガイドライン 203

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性

Sulfolane : EC50: 852 mg/l
曝露時間: 48 HR
種: ダフニアマグナ(ミジンコ)
止水式試験 方法: OECD 試験ガイドライン 202

藻類に対する毒性

Sulfolane : EC50: 500 mg/l
曝露時間: 72 HR
種: プソイドキルチネリエラスブカピタタ(緑藻)
方法: OECD 試験ガイドライン 201

最大無影響濃度: 171 mg/l
曝露時間: 72 HR
種: プソイドキルチネリエラスブカピタタ(緑藻)
方法: OECD 試験ガイドライン 201

生体蓄積性

Sulfolane : 生物濃縮因子 (BCF) : < 1.3
この材料は生物濃縮には見込まれない。

生分解性

Sulfolane : 結果: 容易に生体内で分解されない。
10.1 %
試験期間: 14 TEN
方法: OECD テスト ガイドライン 301C

環境毒性アセスメント

PBT アセスメントの結果
Sulfolane : 分類されていない vPvB
(極めて難分解性で高い生物蓄積性)物質, 分類されていない
PBT (難分解性で生物蓄積性の有毒)物質

生態系に関する追加情報 : 本物質は水生生物に有害であると考えられません。

13. 廃棄上の注意

このSDSの情報は、出荷される製品のみに関連する。

本物質は意図された目的に使用し、可能であれば再生利用すること。廃棄する必要がある場合、本物質は、RCRA (40 CFR
261) に基づき米国EPAに定義された、またはその他の州や地方自治体により定義された、有害廃棄物の基準が適用されることがある。適切な判断を下すために、所定の物理的性質の測定および規制対象物質の分析が必要な場合がある。本物質が有害廃棄物として分類されている場合には、連邦法により認可済みの危険廃棄物処理施設にて廃棄することが義務付けられている。

製品 : 廃棄物を下水へ排出してはならない。
薬剤または使用済み容器で池、水路、溝を汚染しないこと。
認可された廃棄物処理業者へ委託する。

汚染容器及び包装 : 残りの容器を空にする 製品入り容器と同様に処分する。
空の容器を再使用しない。

14. 輸送上の注意

ここに示される輸送の説明はバルク輸送に関するもののみであり、それ以外の包装済み製品輸送には適用されない (規制の定義を参照)。
他の輸送説明要件 (専門的名称など) については、米国内外モードに特有、および量に特有の、適切な危険物取扱規定を調べること。

従って、ここに示す情報は本物質に対する船荷証券輸送記述に必ずしも一致しないことがある。
物質の引火点は、SDSと船荷証券との間にわずかな違いがあることがある。

US DOT (UNITED STATES DEPARTMENT OF TRANSPORTATION)
この機関により輸送用の有害物質または危険貨物として規制されてはいない。

IMO / IMDG (INTERNATIONAL MARITIME DANGEROUS GOODS)
この機関により輸送用の有害物質または危険貨物として規制されてはいない。

IATA (INTERNATIONAL AIR TRANSPORT ASSOCIATION)
UN3334,AVIATION REGULATED LIQUID, N.O.S.,(SULFOLANE ANHYDROUS),9,III

ADR (AGREEMENT ON DANGEROUS GOODS BY ROAD (EUROPE))
この機関により輸送用の有害物質または危険貨物として規制されてはいない。

RID (REGULATIONS CONCERNING THE INTERNATIONAL TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS (EUROPE))
この機関により輸送用の有害物質または危険貨物として規制されてはいない。

ADN (EUROPEAN AGREEMENT CONCERNING THE INTERNATIONAL CARRIAGE OF DANGEROUS GOODS BY INLAND WATERWAYS)
この機関により輸送用の有害物質または危険貨物として規制されてはいない。

MARPOL 73/78附属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物資（該当・非該当）

15. 適用法令

国内法規制

毒物及び劇物取締法

: 該当せず

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物 : 該当せず

表示要求の対象となる危険物質 : 該当せず

有機溶剤中毒予防規則 : 該当せず

化審法

: 該当せず

化学物質排出把握管理促進法

: 該当せず

その他の規制

消防法 : 引火性液体
第3石油類
危険等級III

火薬類取締法 : 該当せず

船舶安全法 : 該当せず

航空法 : 該当せず

既存化学物質リスト

欧州 REACH : この製品の物質は登録されていないか、あるいは登録を通知されていません。
この製品の輸入または製造はREACH未規制物質の最低量閾値を超過しない限り許可されます。

米国 TSCA : TSCA インベントリに記載
カナダ DSL : この製品の全成分は、カナダDSLリストに載っている。
オーストラリア AICS : インベントリーに記載されているか、従っている
ニュージーランド NZIoC : インベントリーに記載されているか、従っている
日本 ENCS : インベントリーに記載されているか、従っている
韓国 KECI : インベントリーに記載されているか、従っている
フィリピン PICCS : インベントリーに記載されているか、従っている
中国 IECSC : インベントリーに記載されているか、従っている

16. その他の情報

詳細情報

レガシー SDS 番号 : 2073

前バージョンからの大幅な変更は、余白に強調表示されている。
本バージョンは以前のすべてのバージョンと差し替えられる。

このSDSの情報は、出荷される製品のみに関連する。

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等を、安全に行っていただくために作成されたものです。
記載されている情報はいかなる保証もするものではありませんし、品質を特定するものでもありません。また、このMSDSのﾃﾞｰﾀはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料との組み合わせ使用に関しては有効ではありません。

安全データシートで使用されるキーまたは凡例から略語や頭字語まで			
ACGIH	米国産業衛生専門家会議	LD50	50%致死量
AICS	オーストラリア既存化学物質インベントリー	LOAEL	最小有害影響量
DSL	カナダ国内物質リスト	NFPA	米国消防庁
NDSL	カナダ非国内物質リスト	NIOSH	米国国立労働安全衛生研究所
CNS	中枢神経系	NTP	米国国家毒性プログラム
CAS	化学情報検索サービス機関	NZIoC	ニュージーランド化学物質インベントリー
EC50	有効濃度	NOAEL	無毒性量
EC50	50%影響濃度	NOEC	無影響濃度
	EOSCA一般暴露シナリオツール	OSHA	米国労働安全衛生局
	欧州油性化学物質協会（European Oilfield Specialty Chemicals Association）	PEL	許容暴露限界
EINECS	欧州既存商業化学物質インベントリー	PICCS	フィリピン商業化学物質インベントリー
MAK	ドイツ最大許容濃度	PRNT	推定無毒性
GHS	世界調和システム	RCRA	資源保全再生法
>=	以上	STEL	短時間暴露限界
IC50	50%阻害濃度	SARA	スーパーファンド改正・再承認法
IARC	国際癌研究機関	TLV	限度値
IECSC	中国現有化学物質名録	TWA	時間加重平均
ENCS	日本既存化学物質インベントリー	TSCA	有害物質規制法
KECI	韓国既存化学物質目録	UVCB	組成が不明または不定の構成物質、複雑な反応生成物及び生体物質
<=	以下	WHMIS	作業場危険有害性物質情報システム
LC50	50%致死濃度		